



会社施策を担う社員が生活できる賃金引き上げを求める

本部申9号・2023年度賃金改善等に関する申し入れを提出!

◆本部申9号申し入れ項目◆

1. 定期昇給は所定昇給額を完全実施すること。
2. 2023年4月1日に在籍する社員の基本給に昇給係数2相当分として一律3,000円を加算すること。
3. 2023年4月1日に在籍する社員の基本給を一律9,000円引き上げること。
4. 2023年4月1日に在籍するエルダー社員の基本賃金を一律3,000円引き上げること。
5. 第二基本給を廃止すること。

2023年度の賃金改善について中央本部は2月8日、本部申9号「2023年度賃金改善等に関する申し入れ」として、5項目にわたり要求を経営側に提出しました。

所定昇給額による定期昇給の完全実施、2021年の賃金改定時に削られたままの昇給係数2係数分の加算、社員一律9000円のベースアップを柱に、エルダー社員の賃金引上げと第二基本給の廃止を求めます。

コロナ禍による業績悪化から回復基調にあるJR東日本を支える社員の生活は厳しさを増しています。労働条件の最も取られたものである賃金引上げは、労働組合が団体交渉を通じて、たたかひを通じて勝ち取るものです。

JRで働くすべての労働者の力を結集して賃金の引き上げを実現しましょう!

JR東日本で働く私たち社員一人ひとりには、会社がおかれた厳しい経営状況を認識し、課題解決と新たな価値の創造、融合と連携など、新たなチャレンジを続けてきました。

1月31日に発表された2022年度第3四半期決算は、単体の営業収益が対前年17.1%増の1兆2640億円でした。

本業の儲けを示す営業利益が822億円、経常利益は494億円、四半期純利益も483億円で増収増益となり、3期ぶりに黒字化を実現しました。

新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中でも2期連続の赤字決算を乗り越え、通期の黒字化を確実視できるところまで業績を回復させてきたその原動力は、現場で働く社員の努力です。

一方でこの3年間、私たち社員は様々な場面で我慢を強いられました。期末手当が低く抑えら

申12号

新潟車両センターに関する乗務員の労働条件・環境を質す

2023年3月ダイヤ改正及び「営業・運輸車両職場における体制の見直しについて」に対する申し入れ②

新潟地本は1月27日、申12号「2023年3月ダイヤ改正及び「営業・運輸車両職場における体制の見直しについて」に対する申し入れ」を提出しました。

今年3月に予定される

【新潟車両センター関係】

31. 乗務行路作成において新潟車両センターへ上沼垂間の入出区となる回送

32. 運転士行路において新

33. 新潟車両センターにおいて出区番線に変更があった場合、乗務員の指示方法を明らかにすること。

34. 新潟車両センターにお

【その他】

36. 新潟運輸区B1201行路、C6024行路の1684M新潟〜内野間はワンマン列車なのか車掌乗務列車なのか明らか

37. 新潟運輸区B1217行路、132M〜139Mのワンマン運転に伴う

38. 日中時間帯の新潟〜新津間及び新潟〜内野間のワンマン解除についての考え方について明らかにすること。

35. 新潟車両センターの点呼箇所を変更した場合、運転士行路の折り返し時間を見直されていない理由を明らかにすること。



新潟車両センター

上期会計監査を終了

2022年度一般会計

新潟地本は1月27日11時00分より、新潟地本事務所において、2022年度一般会計の会計監査を実施しました。

対象となった会計期間は上半期分の2022年5月1日より10月31日までです。

監査の結果、会計規則に準じて処理されており、帳票類もよく整理されているとして、指摘事項は特になしとしました。

今後とも大切な組合費を厳正に管理・執行していきます。